令和７年
号　外

サポートセンターニュース

発行元：山口県警察本部人身安全・少年課　少年サポートセンター

～県警の新たな取組（情報モラル教室）～

闇バイトや大麻の乱用、オーバードーズといった少年を取り巻く社会問題の入り口は、ＳＮＳと言っても過言ではなく、これに伴って警察署への情報モラル教室の依頼件数は年々増加しています。

令和６年度までは、警察職員による情報モラル教室を開きたい学校側は「警察署」に依頼し、警察署が対応していましたが、令和７年度からは、

１　警察本部はWEBで配信

２　警察署は「参観日の機会に行う教室」か「通信事業者と一緒に行う教室（ドコモ・ポリス・パック）」

の２パターンの情報モラル教室を行うこととしました。

それぞれのやり方の詳細は下記のとおりですので、参考とされてください。

※　新入生情報モラル教室は上記取組とは別に例年通り実施します。

〈警察本部のＷＥＢ配信〉

○　警察本部員がＷＥＢ（Ｚｏｏｍ）でリアルタイム配信
○　小・中・高校ごとに、それぞれひと月に１回（水曜日の午後）実施
（例）５月１４日（水）１３:３０～　小学校対象
５月２１日（水）１３:５０～　中学校対象
５月２８日（水）１３:４０～　高校対象
○　１回の講座で最大１０校が参加可能
○　１講座４０分パック（講義３０分、質疑応答１０分）

～メリット～
○　内容は『山口県のネットトラブルの情勢や問題視されている事案の紹介や対策』
○　自校生徒だけでなく、他校生徒の疑問点も共有
★　通信不備といった不測の事態の際の代替え教養動画を準備
※　代替え教養動画～警察官が教養する様子を動画撮影したもの【約２０分】

〈警察署の参観日の機会を利用した教室〉

○　警察職員が学校に赴いて実施

～メリット～
○　保護者も同席していることで親子が問題点・解決策等を共有
○　内容は『山口県のネットトラブルの情勢や問題視されている事案の紹介や対策』

〈警察署のドコモ・ポリス・パック〉

○　主体は通信事業者（ＮＴＴドコモ）
○　警察職員はＷＥＢ若しくは学校に赴いて参加
○　時間配分は、ＮＴＴドコモが約４０分、警察職員が約５分
○　内容は『業者の情報リテラシー教養、警察の県内情勢や事例紹介』

～メリット～
○　全国共通の情報リテラシーと、県内のトラブル情勢や事例が同時に聴講可能

問い合わせ先　山口県警察本部人身安全・少年課　０８３－９３３－０１１０

つなごう未来へ　“やさしいこころ”